

第 64 回日本小腸学会学術集会 プログラム

日時:2026 年 10 月 17 日(土) 8:50~18:00 / 会場:オービックホール

time	第1会場	第2会場
8:50-8:55	開会の辞 会 長:中村 志郎(大阪回生病院)	
9:00-10:10 (70 分)	主題セッション 1 ※演題公募 「小腸病変を有する希少疾患の内視鏡診断(炎症・腫瘍・その他)」 司 会:仲瀬 裕志(札幌医科大学)、江崎 幹宏(佐賀大学) 基調講演:梅野 淳嗣(九州大学) 特別発言:今枝 博之(埼玉医科大学) 共催:ミヤリサン製薬株式会社	一般演題 1 ※演題公募 司 会:杉本 健(浜松医科大学) 中村 正直(愛知医科大学) コメンテーター:柿本 一城(大阪医科薬科大学)
10:15-10:45 (30 分)	理事長講演 「小腸学会、次のステップへ」 司 会:中村 志郎(大阪回生病院) 演 者:松本 主之(日本小腸学会理事長・岩手医科大学)	
10:50-12:00 (70 分)	主題セッション 2 ※演題公募 「小腸マイクロバイームとヒト疾患の基礎・臨床研究」 司 会:金井 隆典(慶應義塾大学)、 高木 智久(京都府立医科大学) 基調講演:高木 智久(京都府立医科大学) 特別発言:安藤 朗(川西市立総合医療センター) 共催:東亜薬品工業株式会社	スポンサードセミナー 1 *シン・VCE「小腸カプセル内視鏡の Current Trends」 司 会:樋口 和秀(ラポール会 青山病院) 演 者:細井 賢二(東京都立小児総合医療センター) 米田 頼晃(近畿大学) 共催:コヴィディエンジャパン株式会社
12:05-13:05 (60 分)	ランチョンセミナー 1 「クローン病診療における Guselkumab の Cutting edge (仮)」 司 会:日比 紀文(慶應義塾大学名誉教授)、 渡辺 守(順天堂大学) 演 者:久松 理一(杏林大学)、 松岡 克善(東邦大学医療センター佐倉病院) 共催:ヤンセンファーマ株式会社	ランチョンセミナー 2 「クローン病小腸病変の診療アプローチ」 司 会:渡辺 憲治(富山大学)、土屋 輝一郎(筑波大学) 演 者:山村 健史(名古屋大学)、 藤井 俊光(東京科学大学) 共催:アッヴィ合同会社
13:10-13:30	総会・評議委員会	
13:35-14:45 (70 分)	主題セッション 3 ※演題公募 「クローン病 小腸病変評価の最前線(MRE、CTE、腸管エコー、バイオマーカーなど)」 司 会:新崎 信一郎(兵庫医科大学)、 竹内 健(辻仲病院柏の葉) 基調講演:竹中 健人(東京科学大学) 特別発言:大塚 和朗(昭和医科大学横浜市北部病院)	一般演題 2 ※演題公募 司 会:櫻庭 裕丈(弘前大学)、 加藤 真吾(埼玉医科大学総合医療センター) コメンテーター:西田 淳史(滋賀医科大学)
14:50-15:50 (60 分)	アフタヌーンセミナー 1 「Teduglutide と Vedolizumab が IBD にもたらせた Deep Impact(仮)」 司 会:内野 基(兵庫医科大学)、 飯島 英樹(大阪けいさつ病院) 演 者:荻野 崇之(大阪大学)、細見 周平(大阪公立大学) 共催:武田薬品工業株式会社	アフタヌーンセミナー 2 「IBD 内科治療ストラテジー(仮)」 司 会:穂苅 量太(防衛医科大学校) 演 者:大森 鉄平(杏林大学)、 猿田 雅之(東京慈恵会医科大学) 共催:持田製薬株式会社
15:55-16:35 (40 分)	会長特別企画 1 *シン・小腸学「小腸疾患に対する再生医療の現在地と展望」 司 会:緒方 晴彦(藤田医科大学) 演 者:岡本 隆一(東京科学大学)	会長特別企画 2 「ここが変わった！小腸内視鏡診療ガイドライン改訂の Point」 司 会:田中 信治(医療法人ハートフル アマノ病院) 演 者:矢野 智則(自治医科大学)
16:40-17:50 (70 分)	主題セッション 4 ※演題公募 「小腸疾患に対する小腸内視鏡検査と治療の新展開」 司 会:大宮 直木(藤田医科大学)、岡 志郎(広島大学) 特別発言:山本 博徳(自治医科大学) 共催:富士フィルムメディカル株式会社	アフタヌーンセミナー 3 「クローン病 長期経過における栄養療法の意義を見つめ直す」 司 会:長沼 誠(関西医科大学) 演 者:平井 郁仁(福岡大学)、 馬場 重樹(滋賀医科大学) 共催:EA ファーマ株式会社
17:55-18:00	閉会の辞／次回当番会長挨拶 会 長:中村 志郎(大阪回生病院)／平井 郁仁(福岡大学)	